

國學院大學学術情報リポジトリ

2020年度のCERCとの連携事業について

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-07-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002000596

2020年度のCERCとの連携事業について

日本文化研究所では宗教文化教育推進センター（通称CERC）との連携により、宗教文化教育推進のための教材作成に取り組んでいる。以下では、2020年度の教材開発の成果とCERCの活動について報告する。

（1）宗教文化教育推進のための教材作成

教材開発に関して、CERCとの共同で宗教文化を学ぶための以下のオンライン教材を既に公開している。①「宗教文化を学ぶための基本書案内」②「世界遺産と宗教文化」③「映画と宗教文化」④「博物館と宗教文化」⑤「宗教文化に関係する基本用語クイズ」

2020年度は、特に②「世界遺産と宗教文化」③「映画と宗教文化」の内容の拡充を図り、データベースへの新規項目の追加のほか、重要な項目に関する解説を執筆、公開した。

②「世界遺産と宗教文化」の教材では、「バガン」などのページを新規に15件追加した。③「映画と宗教文化」の教材では、「西の魔女が死んだ」、など近年公開された映画を含め、宗教文化と関連するものを新規に22件掲載した。2020年度時点で②は計179件、③は計203件となった。①、④、⑤についても情報収集を継続して行っている。

さらに②と④についてはスマートフォン向けの地図アプリ「ロケスマ」と連携して、表示される地図上のピンをタップすると公開されている教材へとリンクされるシステムとなっている。2020年度に新規に追加した②のページもマップに反映されている。

（2）CERCの活動について

2-1. 認定試験の実施

CERCは2020年度、11月15日（日）に第18回の宗教文化士認定試験を行った。新型コロナウイルスの流行にともない、6月に予定していた第18回試験を11月に延期し、実施した。また、従来実施してきた、大学を会場とする対面試験が廃止となり、第18回試験ではZoomを用いたオンライン上で試験が行われた。受験者は27名、合格者は21名であった。第1回試験からこれまでに393名の宗教文化士が誕生している。

2-2. 「宗教文化士の集い」の開催

宗教文化士へのアフターケアとして、CERCでは年に一度「宗教文化士の集い」を東京と関西の2ヶ所で行ってきた。2020年度は新型コロナウイルスの流行にともない実地形式での集いが中止となったことを受けて、CERCとの共催で2度の「宗教文化オンラインワークショップ」を企画、開催した。

第1回目のワークショップは「インドネシアのムスリムの暮らし」をテーマに7月2日（木）、7月9日（木）に行い、第2回目のワークショップは「タイの暮らしと宗教文化」をテーマに11月30日（月）、12月1日（火）に行った。第1回目には100名程度、第2回目には60名を超える参加があった。

第1回目のワークショップでは、1日目に木下朋氏（株式会社TNC取締役副社長）による「インドネシアの今と生活者トレンド」の講演、ならびに木村敏明氏（東北大学教授）による「インドネシアの宗教文化」の講演が

行われ、インドネシアの暮らしや宗教文化に関する学びを深めた後、2日目には実際に現地の人々の暮らしを紹介する「オンライン家庭訪問」として、Zoomウェビナーを用いてジャカルタ在住のヒカさんからお話をうかがった。

第2回目のワークショップも同様の形式で、1日目に櫻井義秀氏（北海道大学教授）より「タイのかたち タイ仏教のかたち」の講演、木下朋氏より「タイの今と生活者トレンド」の講演が行われた後、2日目にはバンコク在住のパットさんの「オンライン家庭訪問」を実施した。

オンラインワークショップではチャット機能を用いて、参加者に講師や家庭訪問先との質疑応答による交流の機会を提供した。

「宗教文化士の集い」や宗教文化オンラインワークショップは、宗教文化士同士の交流を促すだけでなく、資格取得者の実際の声から、資格の役割や必要なアフターケアについて考えるための機会ともなっている。

2-3. 更新（上級宗教文化士認定）について

宗教文化士資格は取得から5年間の有効期限が設けられており、本年度は第8回・第9回認定試験の合格者を対象とした更新の受け付けが行われた。更新のためには、(a) e-learningによる学習、(b) CERC指定の講演会などの聴講とレポート提出、(c) メルマガの記事をもとにしたレポートの提出、(d) 体験に基づくレポートの提出、の4種から選び、計3ポイントが認められることが必要となる。更新が認められると、終身資格の「上級宗教文化士」が与えられる。

第8回認定試験での資格取得者は17名で、そのうち10名が更新のための課題を提出し、更新が認められて上級宗教文化士となった。第9回認定試験については13名の資格取得者のうち8名が上級宗教文化士に認定された。本年度末までに計112名の上級宗教文化士が

誕生している。

2-4. 宗教文化士および上級宗教文化士へのサポート

CERCでは、宗教文化士の資格取得後も宗教文化に関する情報を得るためのサポートの一環として、「CERCメルマガ」を年に4回、特別号を年に2回発行している。メルマガでは、宗教文化に関わる最新のニュースを解説とともに紹介するほか、講演会やシンポジウムなどの情報も掲載している。2020年度末時点で、35号まで発行された。特別号は、9月に第5号、2021年3月に第6号が配信された。特別号には、CERCの運営委員によるリレーエッセイ、宗教文化に関わる新刊の紹介、宗教文化士の体験レポート、宗教文化オンラインワークショップの報告が掲載されており、さらに充実した情報提供が行えるようになった。

また、宗教文化士へのサポートとして、住所やメールアドレスの変更を連絡するためのフォームも提供しており、連絡先変更の円滑な反映と、資格更新の通知や、メルマガの配信の際のメール不達などの減少につながっている。

2-5. 宗教文化士認定試験の受験資格の拡充

さらなる宗教文化教育の発展を目的とし、新たにe-learning教材の提出による受験資格の拡充を試みることに決定され、準備が行われている。現在は受験資格取得用のe-learning教材（10科目）の作成が進められており、2021年度の第20回宗教文化士認定試験からの導入が予定されている。従来、大学や学部の性格上受験資格を得るのが困難であった大学生・大学院生や、社会人にも受験の機会を提供できるようになり、受験者のさらなる増加が見込まれる。

（小高絢子）